

令和2年度 立川市教育委員会 学力向上推進事業

I 「全国学力・学習状況調査」結果

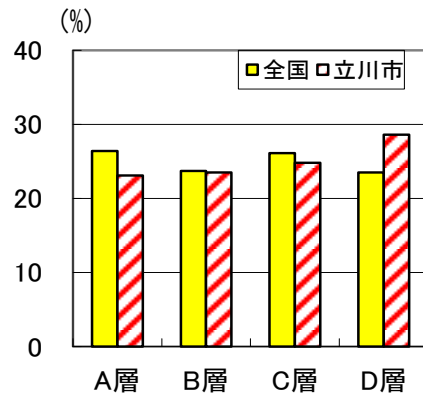
○平均点の比較

	教科名	立川市	全国
小	国語	61.0	63.8
	算数	67.0	66.6
中	国語	73.0	72.8
	数学	60.0	59.8
	英語	58.0	56.0

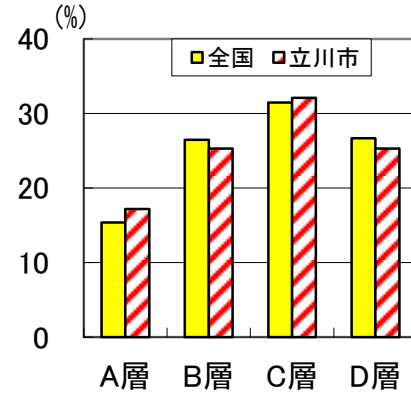
全国の結果との比較

AB層のさらなる充実、CD層への支援の充実を目指す。

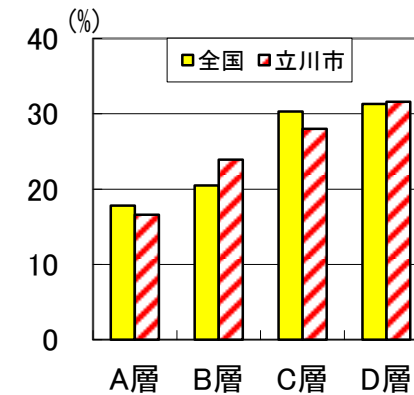
小学校国語



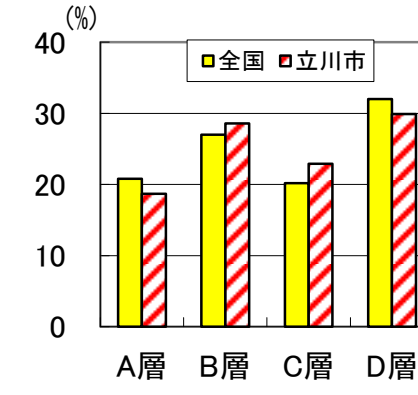
小学校算数



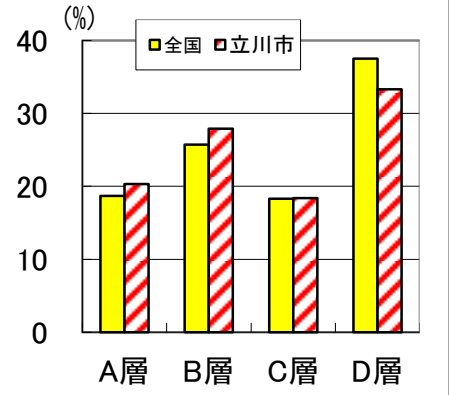
中学校国語



中学校数学

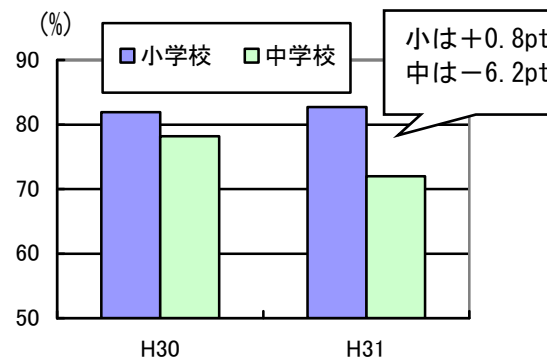


中学校英語



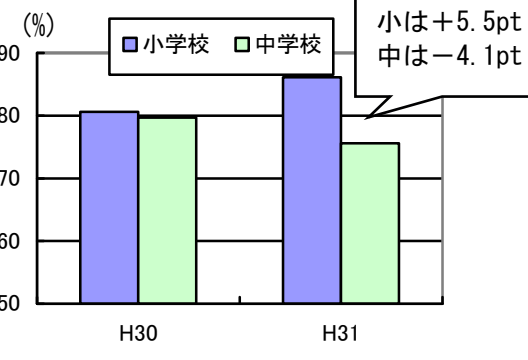
意識調査結果の昨年度との比較

「自分にはいいところがあると思いますか？」

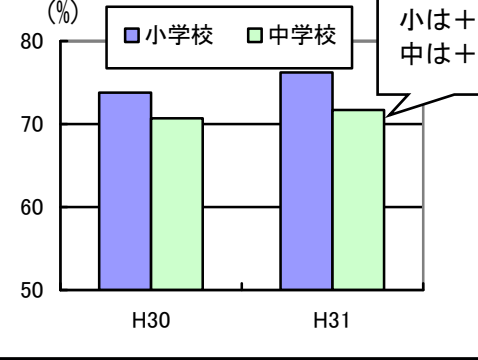


小学校において自己肯定感が高まったが、中学校では低下している。

「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか？」



「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいますか？」



II 成果と課題

○成果

- ・多くの教科で全国平均を上回る結果となっている。
- ・小学校の自己肯定感に改善が見られる。
- ・中学校英語は、小中連携外国語活動の成果が見られる。
- ・主体的に学習に取り組む姿勢が向上している。

○課題

- ・CD層の児童・生徒への支援を充実させる必要がある。
- ・AB層の児童・生徒がさらに高まる支援を充実させる必要がある。
- ・児童・生徒の自己肯定感を高める授業改善を進める必要がある。

III 課題を解決する施策の展開

CD層の児童・生徒への支援

- 1 東京ベーシックドリルの活用の推進
⇒基礎的・基本的な内容の定着率向上により、CD層の児童・生徒の学習のつまづきを防ぐ。
- 2 立川スタンダード20の活用及び充実
⇒C・D層の児童・生徒への個別の手立てや手助けとなる教材の提示など、基礎・基本の定着に向けた授業改善の充実。
- 3 学習機会の複線化
⇒「地域未来塾」事業〔放課後等の学習指導員の派遣〕
- 4 PASEO（理科支援員）の配置
- 5 指導課訪問による授業力の向上
- 6 研究指定校事業のPDCAサイクル化

AB層の児童・生徒への支援

- 1 「立川スタンダード20」を活用した授業改善の充実
⇒探求的な学びを実現する授業改善の推進
- 2 ICT教育の推進
⇒タブレット端末の活用、プログラミング教育の推進
- 3 教育力向上推進モデル校事業の活用
⇒教科担任制：立川市民科：カリキュラム・マネジメント
- 4 学習機会の複線化
⇒小学校「地域未来塾事業」（企業等との連携）
中学校「スタディ・アシスト事業」（企業等との連携）
- 5 立川版科学コンテスト・夏季科学講座（中学生）の実施
- 6 小中連携外国語活動の推進
⇒小中連携の継続とALTによる支援の充実

児童・生徒の意欲を育む支援

- 1 立川市民科の充実
⇒中学校社会科（市民科）副読本の改訂
- 2 キャリア〈生き方〉教育の推進
⇒立川夢・未来ノートの活用
- 3 「立川学級カスタンダード」の活用
- 4 中学校教科用図書選定検討委員会・調査研究部会
- 5 幼保・小中連携教育協議会の開催
- 6 持続可能な社会づくりに向けた教育の推進
- 7 日本英語検定協会による英検I B Aの実施〈全中学校〉
- 8 理科教育振興事業～Tachi・Rika～
- 9 市内全校でのコミュニティ・スクールの実施